

一般質問

一般質問
井ノ上 剛
(自民党)

観光基本計画
檀原神宮、今井町、
藤原宮跡のPR

定例会では、提案された諸議案に関係なく、議員自身が議長に通告し、市長及び関係理事者に質問する日（一般質問日）を設けています。今定例会は、9月20日、21日に9人の議員が活発な質問を展開しました。ここにその一部を掲載します。詳細は、市議会ホームページでご覧いただけますので、是非活用ください。

問 市の観光基本計画を熟読するとクリアすべき課題が浮き彫りとなっている。重伝建制度の創設のきっかけになった今井町は、町並みを積極的に保存していくという考えや、町並み保存をすると住宅の住み方が制限されるなどの活発な議論を経て今日に至っている。観光基本計画における今井の記載には、「生活の場であることから、観光地として売り出していくためには地元住民からの理解と協力が必須」とある。「売り出し」という言葉には、行政主導の姿

勢が垣間見れるが、過去の今井町の自治意識の衝突について、考えは。

答 観光客の急激な増加で、騒音やごみの問題など、住環境に影響を及ぼす可能性もある。市は、地元住民への説明や連携を怠らず理解と協力を得て、ターゲットを絞ったPR活動をしたい。観光基本計画の地元説明会でも、参加者が多く関心の高さが伺えた。話し合いの場を綿密に持ちたい。住民の理解、支援がなければ観光は進められず、十分な配慮をしたい。

問 地元説明会等では、観光地化を望む方の声や、少し懸念を持たれている方の声があると思う。どういったものがあるのか。

答 騒音やごみ等の問題、年中、観光客が町内を歩かれると静かに生活できないという

党派名簿

公明党 (4名)
大北かずすけ・亀甲義明
森下みや子・成谷文彦
日本共産党 (3名)
竹森 衛・今西貴昭
西川正克

自民党 (4名)
榎本利明・佐藤太郎
井ノ上剛・竹田のぶや
練政 (2名)
廣井一隆・大保由香子
蘇政会 (2名)
松木雅徳・たけだやすひこ
すきやねん檀原
榎尾幸雄・小川和俊

青丹会 (2名)
うすい卓也・松尾高英
自由民主党 (2名)
奥田英人・細川佳秀
いずれの党派にも所属しない議員 (3名)
奥田 寛・原山大亮
杉井康夫
(平成29年9月20日現在)



今井町

懸念、また別に、価値に比して全国的な知名度はまだ低く、もっと今井町の名を高め広めてもらいたいという意見もあった。綿密・緻密に、そういった声に耳を傾けていきたい。

問 檀原神宮については、市は檀原建國というものを歴史的な事実と見るのか、あるいは神話・伝承の記述であるか、見るのか、考えは。

答 政教分離の原則から宗教的な面を紹介することはできないが、古事記、日本書紀に書かれた我が国最古の英雄記、神武天皇東征物語の終着点として文化資源的にPRしたい。

問 藤原京・藤原宮跡は、日本最初の本格的な都城であり歴史的意義が非常に高い場所だが、現状は小規模な資料館以外に建造物はない。PRは困難と考えるが、観光客をどのように誘致するか。

事 事にしていきたい。「飛鳥・藤原」として世界遺産を目指している中、藤原京の整備計画について、国による整備計画の見直しも含め、今後の展望は。

答 藤原宮跡には復元された建造物はないが、そこから見る名勝の大和三山の景色は当時とほとんど変わらず、万葉集に歌われた景色は、遠い昔に思いをはせる絶好のロケーションである。呼び込む方策として、季節ごとに多くの花を植えており、多くの観光客が訪れている。工夫して観光客を集めたい。隣接する明日香村との連携的なルートも大

問 住民がまちに誇りを持ち、自発的に市をPR・発信してもらおうのが最も健全なPR方法と考える。今井町、檀原神宮、藤原京に関し、小・中学校ではどのような郷土教育を